

## 副会長巻頭言



### 金田 欧奈

KANEDA Ohna

ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社  
代表取締役社長

「こんなに盛り上がっている業界は滅多にない。」

昨年の協会総会後のレセプションにて、主賓の方に仰って頂いた言葉です。私も仕事柄色々な業界会合に参加しますが、全く同感で頷きながらスピーチを聞いておりました。

大きな理由は2つでしょうか。一つ目は『社会に必要とされている仕事であること』。

皆さんも仕事を通して感じられていることかと思いますが、変化できず立ち止まっている優良企業、大手傘下で忘れ去られている優良企業が日本には数多あります。これらの企業の強みをつなぎ直し、かき混ぜて潜在している力を引き出す。先の未来に通用する効果的な企業群の組み合わせを構築する。優秀な人材のポテンシャルを最大限に引き出す。これが今必要なことであり、私達に求められている仕事ではないかと思っています。

二つ目は『そこに選りすぐりの人材が数多く集まっていること』。これは縁あって協会活動に参加した恩恵ですが、会う方皆魅力的な人ばかり、改めてこの業界の先行きの明るさを感じることが出来ました。人材についてはGPだけでなく、ご一緒するプロフェッショナルの皆さんを含め、年々優秀な方々が増える一方、四方八方みてもこんな業界はなかなかない。古今東

西意義ある仕事に優秀な人材が集まるもので、これが冒頭のお褒めの言葉を頂けた背景ではないかと思えます。

協会では、この良い循環を加速させるべく、多くの方々が尽力されています。更に人の輪を広げるための会員数拡大の取り組み(会員数の増え方を見て頂ければ、その成果が分かると思います)、業界の必要性をしっかりと世間に伝えるためのESGを含めたPR活動(レポートも是非ご覧下さい)、集まった会員の方々のつながりを強くするための勉強会や交流会の活性化(先日の勉強会では現役の大臣が登壇されていて驚きました)、JPEA AWARDには数多くの優良案件がエントリーされ、厳選された受賞案件のケーススタディーは協会内に限らず、外部にも発信され業界認知を上げる一助になっていると感じます(協力頂いている審査員の皆様にはただ頭が下がる思いです)。

記載すればキリがないのでこのあたりとしますが、その取り組みは年々深く広がっています。短い期間でこれだけの取り組みが出来たのは、もちろん主導された方々のご努力と会員の皆様方のご協力の賜物ではありますが、同時に未だ成長途上にある若い業界であることの証左だとも思います。

成熟産業においては、どうしても限られた場の取り合いになってしまいますが、日本のプライベート・エクイティ業界はそうではありません。組織の垣根を越えて、力を結集して場を広げることが出来る成長ステージであり、本当の盛り上がり、楽しみはまだ先です。

協会活動も同様に、より活性化してゆくとします。プライベート・エクイティ業界の盛り up を益々外に広げてゆくために、皆様方のより一層のご支援をよろしくお願い致します。

## 2025年度 理事・監事一覧

会長・代表理事	飯沼 良介	アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表取締役社長
副会長・理事	廣本 裕一	ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長
	金田 欧奈	ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社 代表取締役社長
理事	樫山 雄樹	J-STAR株式会社 パートナー
	清塚 徳	サンライズキャピタル株式会社 代表取締役社長
	杵山 幸功	シーヴィーシー・アジア・パシフィック・ジャパン 代表取締役 日本共同代表 パートナー
	平野 博文	アジア地域プライベートエクイティ共同代表 KKRジャパン代表取締役社長
	福崎 昇平	株式会社丸の内キャピタル 取締役 チーフインベストメントオフィサー マネージングディレクター
	三井 麻紀	Carlyle Japan Equity Management LLC マネージング ディレクター パートナー
	三村 智彦	エンデバー・ユナイテッド株式会社 代表取締役
監事	岡 俊子	株式会社岡&カンパニー 代表取締役
	梅津 直人	D Capital株式会社 代表パートナー

# 日本におけるプライベート・エクイティ市場の概観

## 概説

日本のプライベート・エクイティ (PE) 市場における年間案件総額は現在約200億ドル以上に上り、主に大規模案件が増加したことによって、直近5年間成長傾向にある。しかし、アメリカやドイツといった他の先進国市場と比べると小規模に留まっている。プライベート・エクイティ案件の大半をバイアウトが占め、対象業界は多岐にわたる。

日本で活動するPEファームには、国内ファームと海外ファームの日本拠点の双方が含まれ、後者はより大規模案件に重点を置く傾向がある。PEファームによる買収企業の平均保有期間は4-5年で、近年はセカンダリー取引の比重

が高くなっているものの、事業会社への売却またはIPOを通じてイグジットに至るのが一般的である。

直近の案件にみられる主要傾向として、コーポレート・カーブアウト (特に大規模案件)、オーナー／創業者による事業承継 (特に中小規模案件)、および後期ステージにあるスタートアップ企業へのグロース投資が挙げられる。

## 日本のPE市場の規模と成長

日本のPE市場は2000年代初めに台頭し、2007年まで急速な成長を見せたものの、その後の世界金融危機の影響を受け、案件総額は長期間にわたり低い水準で推移した。2016年以降は大規模案件により市場は大幅に伸長し、直

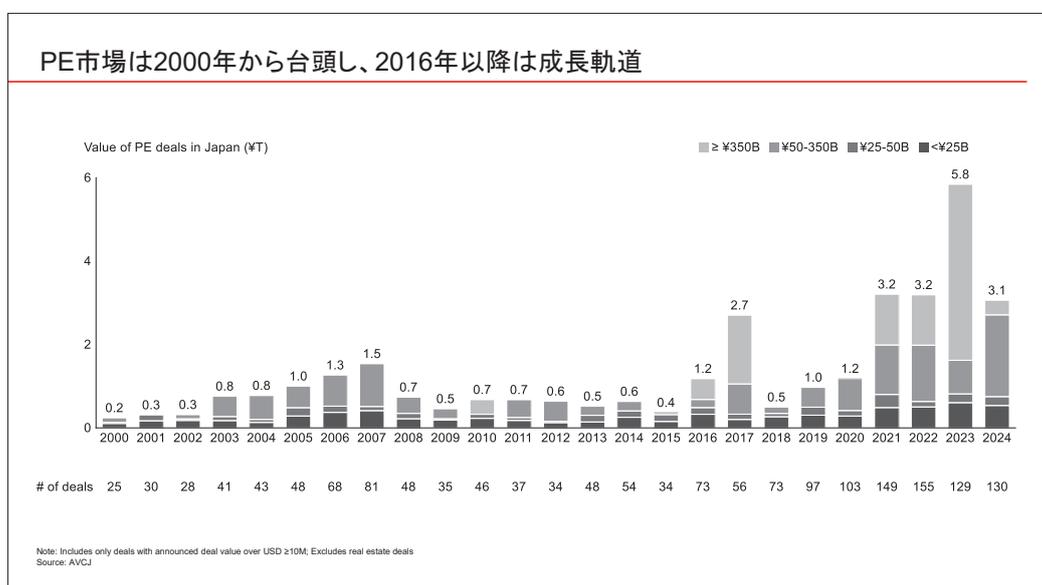


図1：日本のPE市場における案件額と件数

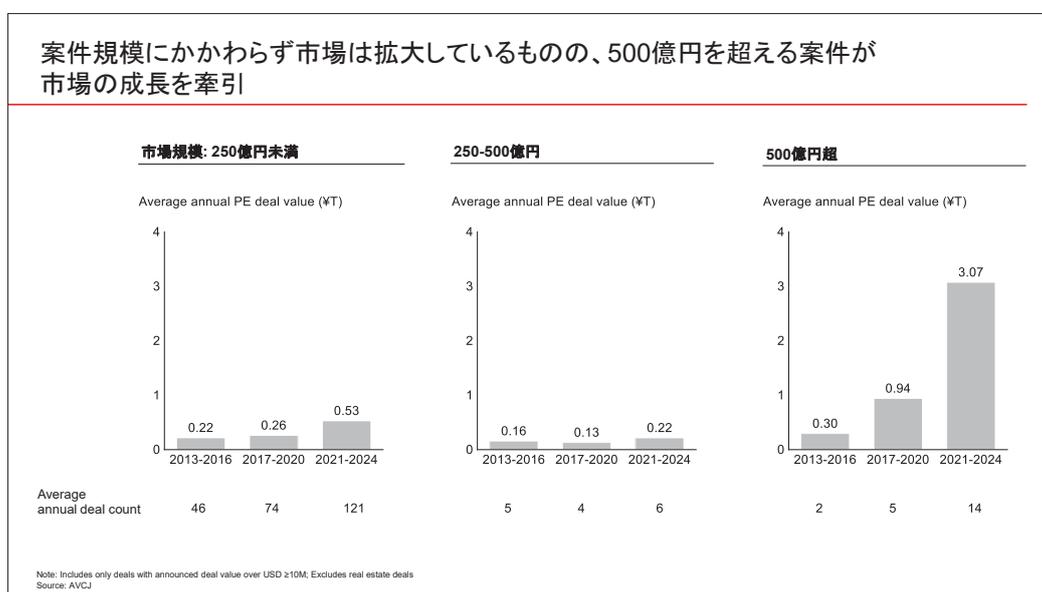


図2：案件規模別にみた日本のPE市場

近数年では年間200億ドル超の案件総額を記録している。単年ごとで見ると、少数ながらも大規模案件の有無によって案件総額が大きく変化することから市場は変動しやすいものの、案件数は安定して推移、成長している。日本のPE市場においては特定の業界への目立った傾斜は見られないが、小規模案件の大部分は成長の著しい業界

(ITやコンピューター／ソフトウェアなど)で実施され、大規模案件はサービス、ソフトウェア、製造関連の業界で存在感の大きさを示している。

### 世界規模でみた日本のPE市場の規模と成長

PE市場をGDP比で見ると、日本は他の先進国と比べて小

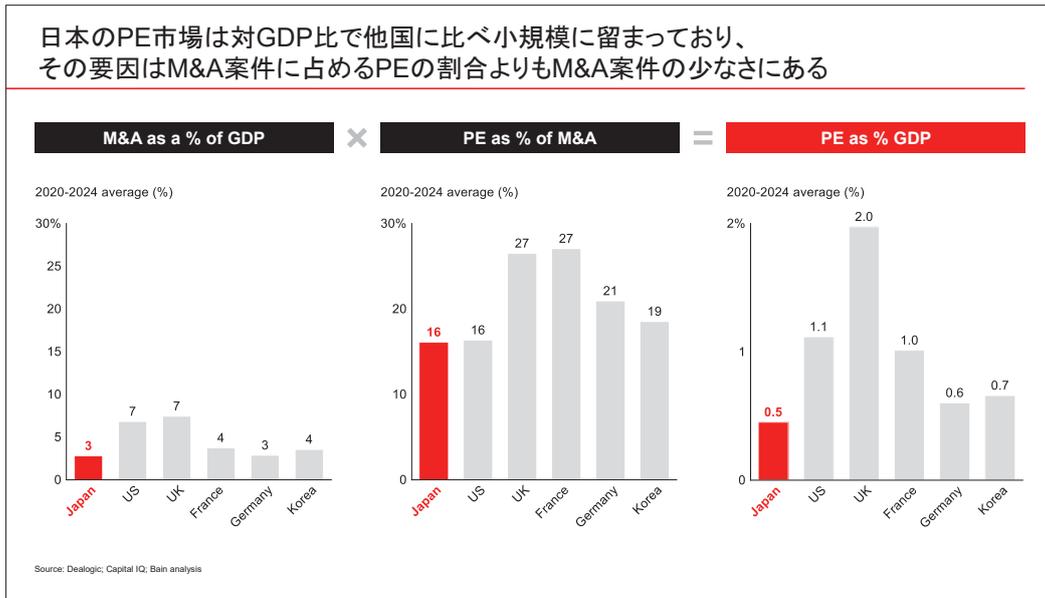


図3：他国と日本のPE市場規模

規模に留まっており、例えばイギリスやアメリカなどに比して2分の1から4分の1程度となっている。これは、M&A案件に占めるPEの割合が低いことも原因ではあるが、そもそも他国の市場ではより多くのM&A案件が行われていることが主な要因である。

アジア各国の市場と比較した日本市場の特徴：

- バイアウトやその他の経営権取得を伴う取引へ傾斜：日本で実施された案件の約80%がバイアウトであるのに対し、アジア太平洋地域の他市場ではその割合は約30%
- 大規模案件が高い割合を占める：日本では10億ドル以上

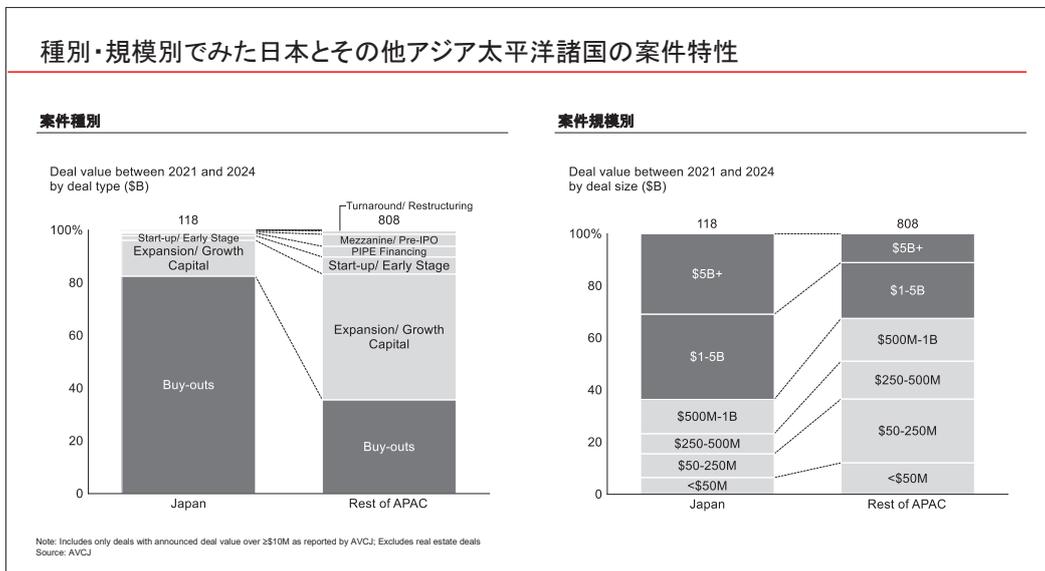


図4：種別および規模別でみた日本とその他のアジア太平洋諸国の案件特性

の案件が総額の約65%を占める一方、アジア太平洋地域の他市場では30%

アジア太平洋地域全体のPE市場に占める日本のシェアは小さいものの、大規模なバイアウト案件(2.5億ドル超)においては、日本はアジア太平洋地域で2番目に大きな市場である。日本のPE市場は、近年の成長実績や今後のさらなる成長余地に加え、日本企業の収益性は比較的低位(改善機会を示唆)、公開市場でのバリュエーションも低いことから(妥当な価格で買収できる機会)、海外の投資家にとって魅力的な市場となっている。

しかしながら、日本におけるPE投資のエントリー時のバリュエーションは公開市場ほど低くなく、公開市場の

EBITDAマルチプルを大きく上回っている。PEファームは、事業や戦略の変革を通じて投資先企業の価値向上を見込んでいるため、そのような高額なバリュエーションを支払うことが可能である。大規模案件に支払われるマルチプルはより高いことが多く、対象会社が優良企業であることのみならず、大規模案件で典型的に行われる競争的競売プロセスを反映していると考えられる。

## 日本のPE市場プレイヤー

日本のPE市場における案件の大半が日本国内に拠点を置くファームによって行われている(国内PEファーム、またはアジア太平洋地域及びグローバルPEファームのいずれも含

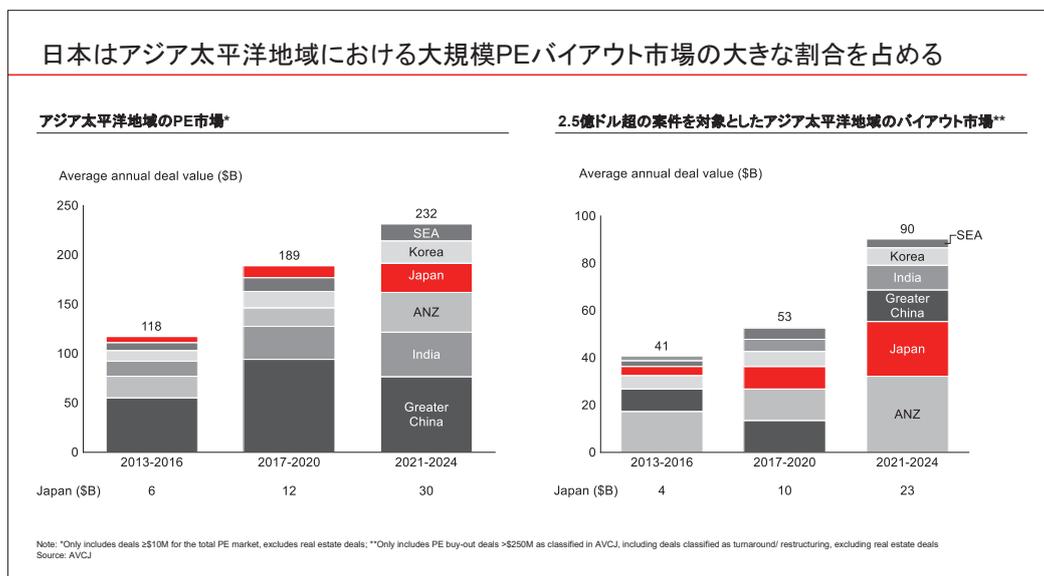


図5: 日本とその他アジア太平洋諸国のPE市場における案件額

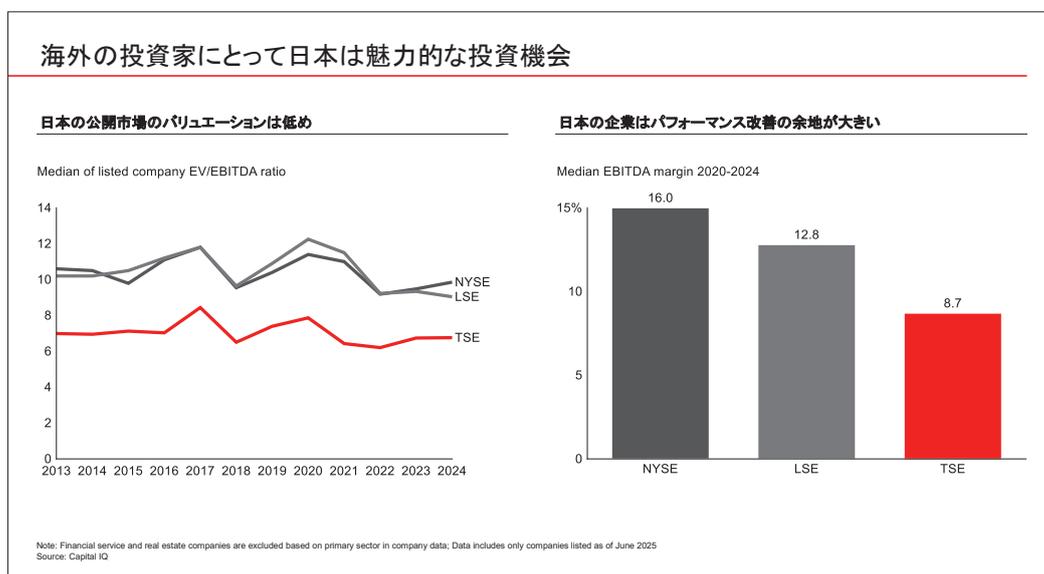


図6: アメリカおよびイギリスと比較した日本の上場企業のパフォーマンス

## EBITDAマルチプルは徐々に上昇し、大規模案件ほど高マルチプルに

### 投資に支払われるEBITDAマルチプルは公開市場を上回る

### 大規模案件はより高額

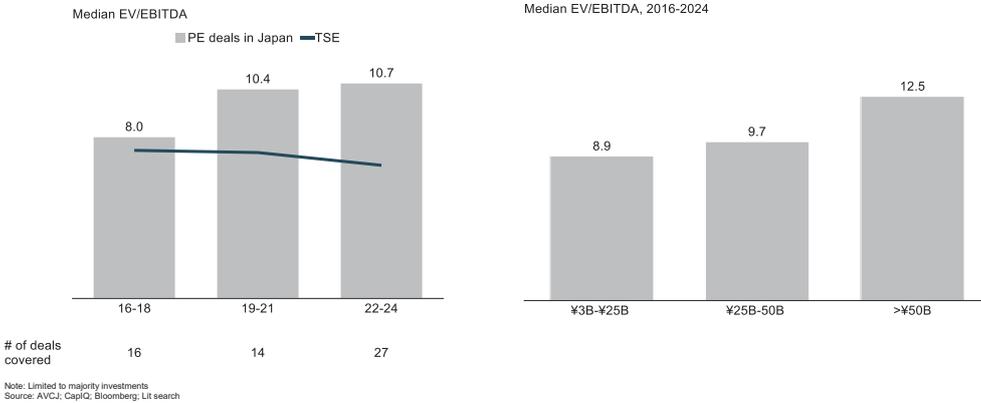


図7：日本のPE案件に支払われたEBITDAマルチプル

まれる)。PEファームによる案件規模は、ファンドの規模に比例している場合が多い。資金の少ない国内ファームは、アジアまたはグローバルファームより小規模な案件を実行する傾向が見受けられる。一方で、近年は国内PEファームのファンドサイズが上昇傾向にあり、より大規模な案件に参加する国内ファームも出てきている。

## 保有期間とイグジット

PEファームは最終的に利益を得てイグジットすることにより、ファンドの投資家にリターンをもたらしている。2017-2024年の間にイグジットを完了したPE資産の平均保有期

間は約5年であるが、2年未満や8-9年以上の保有期間も一部見受けられる。PEファームがイグジットを実施する場合、その方法は様々である。

事業会社への売却、次いでIPOというパターンが多く、一部のケースではPEファームがセカンダリー案件として別のPEファームに売却する場合もある。

## 案件にみられる主要な傾向

日本のPE市場の台頭から約20年が経過し、PEに関する一般的な理解と受容は大幅に進んだ。結果としてPE案件には主に3つの傾向がみられ、PE市場の勢いは今後も続くものと予想される。

## 500億円超の案件の～50%は現地拠点を持つグローバルPEファームによる

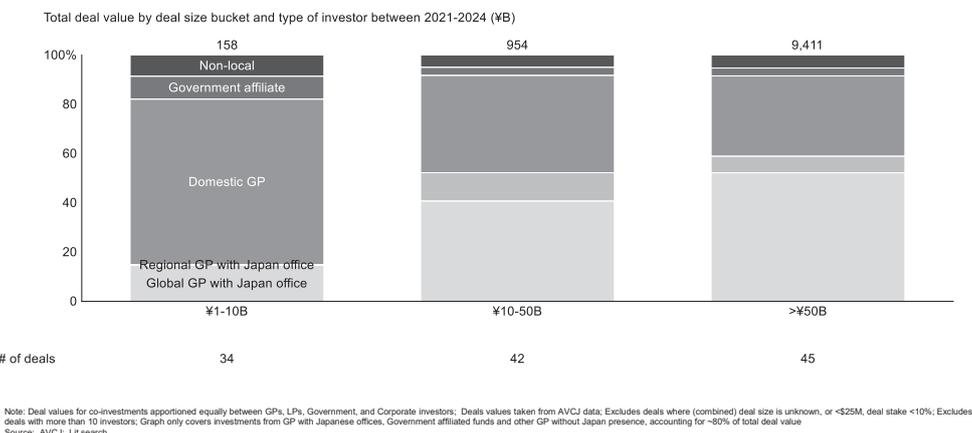


図8：案件規模別にみた日本における競合PEファームの種類

PEファームによる資産保有期間は3-5年間が最も一般的で、その後事業会社への売却やIPOを通じてイグジットを行う。大規模案件はセカンダリー取引の傾向が高まる。

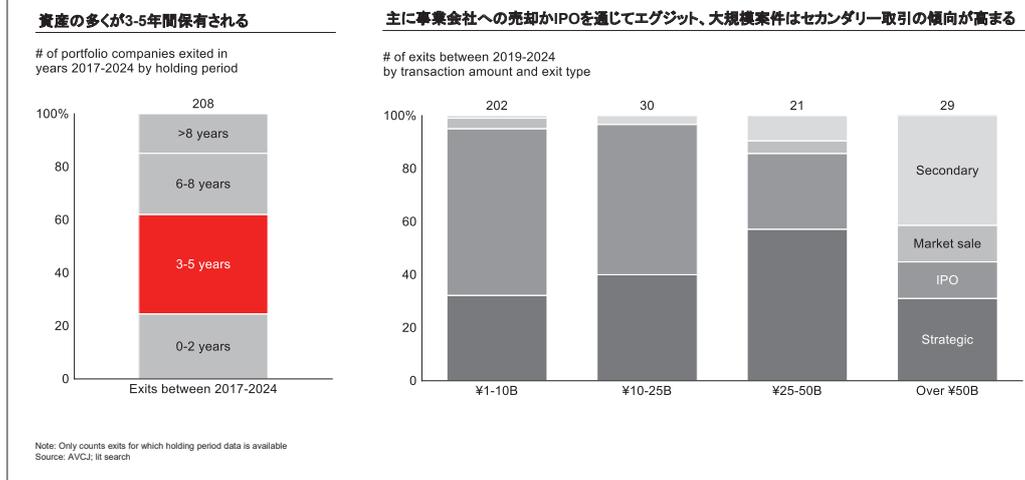


図9：日本におけるPE資産の保有期間と代表的なイグジット手段

コーポレート・カーブアウト（大企業による事業売却）：  
ROE（自己資本利益率）を重視する日本政府は、ROEの改善はコーポレートガバナンスを強化することで達成できると考えており、これが大企業による事業売却の後押しとなっている。日本企業はグローバル企業と比べると事業が多角・分散傾向にあるため、全ての事業に十分な資金を投じることが困難となっている。その結果、事業によっては、現在の親会社の一部としてではなく、独立した経営体制に移行した方がさらなる発展を実現できる可能性がある。

コーポレート・カーブアウトは特に大規模案件との関連性

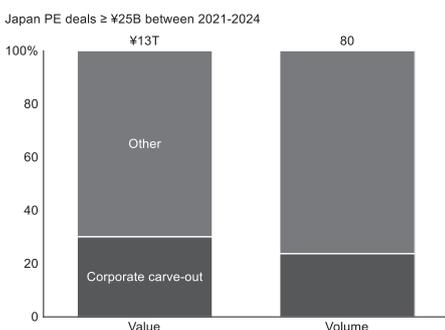
が高い。ガバナンスと透明性の継続的改善とともに、事業売却増加の傾向は継続することが見込まれる。

オーナー／創業者による事業承継：

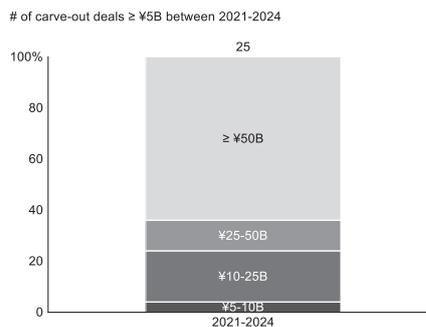
もう一つの重要かつ潜在的な案件の源泉である。企業のオーナーや創業者の多くが高齢となり引退年齢に差し掛かっているが、必ずしも適切な後継者がいるとは限らない。そのような場合、PEは経営権をプロフェッショナルな経営陣に移行して事業承継を支援する機会を与えるのみならず、新たな資本を提供することでオーナー／創業者は資産を現金化することが可能となる。多くの企業で社長の高齢

### コーポレート・カーブアウトは重要なPE案件ソース

コーポレート・カーブアウトは日本のPE市場の約30%を占める



コーポレート・カーブアウトは大規模案件に発展する傾向



Note: Only deals with announced deal value over ≥ \$10M. Excludes real estate deals  
Source: AVCJ

図10：PE案件ソースとしてのコーポレート・カーブアウトの特性

化が進んだ結果、70歳以上の社長が25%を超えており、日本には事業継承の大きな機会が存在している。

**グロス投資：**

通常、後期ステージのスタートアップ企業に対して行われる新規エクイティ投資を指す。従来、スタートアップは比較的早い段階でIPOを目指す傾向があり、IPO時の中央値のバリュエーションは約150億円程度であった。しかし、プライベートなグロス・エクイティ資金調達により、2,000万～1

億ドル規模の追加ラウンドを通じてIPOのタイミングを遅らせることが可能となる。これにより、スタートアップはより柔軟なエクイティ資金へのアクセス、大規模IPOの実現、さらには上場後の四半期ごとの市場からの監視回避期間を得ることができる。日本ではスタートアップ市場が2000年代後半から活発化しており、事業の成熟度・規模の両面で大規模な資金調達を必要とするスタートアップが増加している。

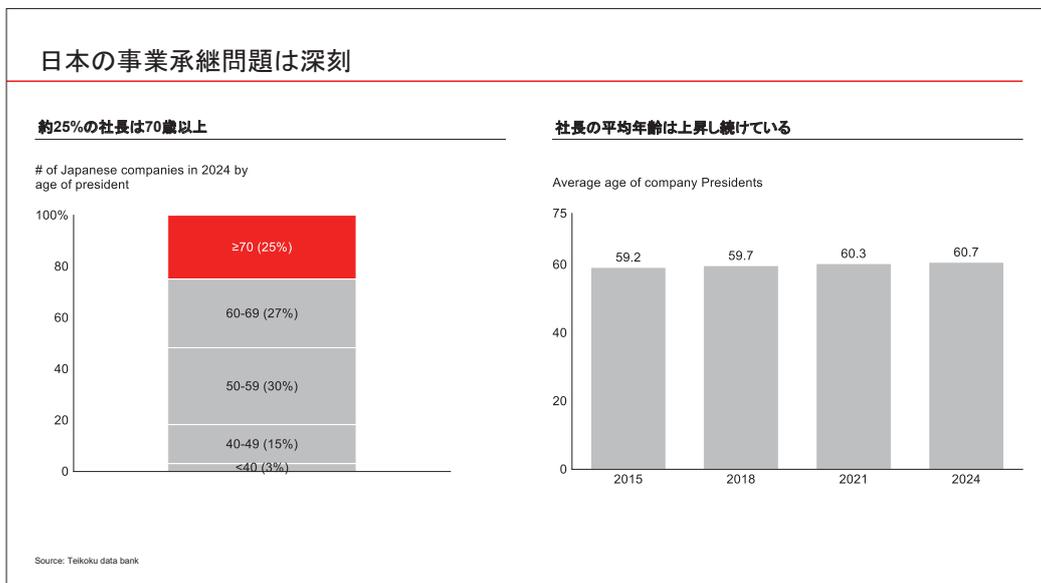


図11：日本企業の社長年齢

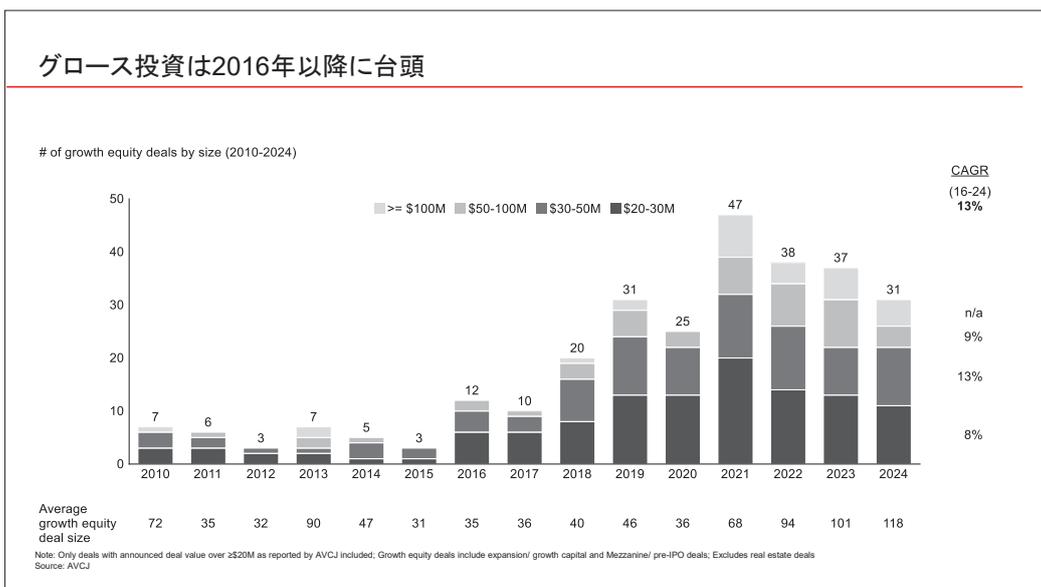


図12：日本のPEにおける後期ステージのグロス投資

本記事はベイン・アンド・カンパニーが作成したものです。  
詳細につきましては <https://www.bain.com/industry-expertise/private-equity/> をご覧ください。

# 正会員ファンドによる公表案件一覧 (2024年7月～2025年6月)

公開日時/正会員名	タイトル
2024/7/1 ユニゾン・キャピタル株式会社	ゆこゆこホールディングスの事業譲渡
2024/7/3 D Capital株式会社	株式会社Francfrancの株式譲渡について
2024/7/8 大和PIキャピタル株式会社	株式会社アースフードの株式譲渡について
2024/7/9 株式会社海外需要開拓支援機構	JAFホールディングス株式会社によるジャパンフーズ株式会社(証券コード:2599)に対する公開買付けの結果に関するお知らせ
2024/7/10 カーライル・ジャパン・エルエルシー	日本KFCホールディングス株式会社(証券コード:9873)の普通株式に対する公開買付けの結果に関するお知らせ
2024/7/17 株式会社アドバンテッジパートナーズ	きずなホールディングス株式に係る応募契約締結のお知らせ
2024/7/19 株式会社海外需要開拓支援機構	クールジャパンパーク大阪株式会社の株式譲渡について
2024/7/23 株式会社アドバンテッジパートナーズ	株式会社AP78による古河電池株式会社に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ
2024/7/24 株式会社丸の内キャピタル	株式会社永谷園ホールディングス株式(証券コード:2899)に対する公開買付けの結果に関するお知らせ
2024/7/25 サンライズキャピタル株式会社	ひいらぎホールディングス株式会社と株式会社ポポラマの資本提携について
2024/7/26 株式会社海外需要開拓支援機構	M.M. LaFleur Inc.の株式譲渡について
2024/7/31 J-STAR株式会社	株式会社アーネストによる株式会社KSSの株式取得について
2024/8/1 大和PIパートナーズ株式会社	東京ケータリング・ホールディングスの発展的承継について
2024/8/1 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社ADDIXの株式譲渡に関するお知らせ
2024/8/1 ニューホライズンキャピタル株式会社	ポストコロナリハビリ投資事業有限責任組合が株式会社ニチネンの事業を承継
2024/8/5 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社N-LaBoとの資本業務提携について
2024/8/9 アイシグマ・キャピタル株式会社	江信特殊硝子株式会社との資本業務提携について
2024/8/21 AZ-Star株式会社	カルネコ株式会社の株式譲渡について
2024/8/26 キャス・キャピタル株式会社	2024年8月26日付でエヌバット株式会社の株式を取得いたしました
2024/8/28 株式会社アドバンテッジパートナーズ	きずなホールディングスに対する公開買付けの完了、及びライフエンディング業界における新たな価値創造に向けた継承について
2024/8/30 株式会社PROSPER	PROSPER日本企業成長支援ファンド第一号投資事業有限責任組合の投資3号案件実行について
2024/9/2 株式会社アドバンテッジパートナーズ	湿式建材のトッププレイヤーである日本化成に投資しました
2024/9/2 ニューホライズンキャピタル株式会社	日本システムケア株式会社とJEOCグループとの資本業務提携について
2024/9/4 D Capital株式会社	ウィルホールディングス株式会社及びWyl株式会社への資本参加のお知らせ
2024/9/4 株式会社KKRジャパン	KKR、富士ソフトに対する公開買付けを開始
2024/9/6 いわせキャピタル株式会社	株式会社新和の株式譲渡に関するお知らせ
2024/9/6 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社クリアライズの株式譲渡に関するお知らせ
2024/9/10 ニューホライズンキャピタル株式会社	株式会社カントビへの投資実行について
2024/9/11 株式会社海外需要開拓支援機構	株式会社Zeppホールネットワークの株式譲渡について
2024/9/13 サンライズキャピタル株式会社	株式会社ストラテジーテック・コンサルティングへの資本参加について
2024/9/18 J-STAR株式会社	jinjer株式会社への資本参加について
2024/9/20 株式会社海外需要開拓支援機構	株式会社バルクオムの株式譲渡について
2024/9/26 J-STAR株式会社	株式会社ジェシーインターナショナルトレード及び有限会社C.R.E.A.M.の事業譲渡について
2024/9/30 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社キノシタとの資本業務提携について
2024/9/30 株式会社ブルバス・キャピタル	株式会社Japan DHAホールディングスに対する投資実行に関するお知らせ
2024/9/30 ティークャピタルパートナーズ株式会社	株式会社オプトルへの投資について
2024/10/1 株式会社ブルバス・キャピタル	株式会社アッピアとの資本業務提携に関するお知らせ
2024/10/1 日本みらいキャピタル株式会社	株式会社ニッパへの投資に関するお知らせ
2024/10/1 株式会社福岡キャピタルパートナーズ	株式会社オファショアの株式譲渡について
2024/10/1 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社佐藤型鋼製作所の株式譲渡について
2024/10/1 アイシグマ・キャピタル株式会社	株式会社ニューテックスの株式譲渡に関するお知らせ
2024/10/2 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社恵那金属製作所の株式譲渡について
2024/10/3 アイシグマ・キャピタル株式会社	株式会社宇部スチールとの資本業務提携について
2024/10/4 株式会社福岡キャピタルパートナーズ	株式会社資さんの株式譲渡について
2024/10/4 ユニゾン・キャピタル株式会社	資さんの株式譲渡
2024/10/7 株式会社福岡キャピタルパートナーズ	九州安芸重機運輸株式会社への資本参加について

公開日時/正会員名	タイトル
2024/10/11 ニューホライズンキャピタル株式会社	株式会社常光への投資実行について
2024/10/11 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社羅針の株式譲渡契約締結のお知らせ
2024/10/11 J-STAR株式会社	株式会社Dentalホールディングスの設立及び医療法人との業務提携について
2024/10/11 J-STAR株式会社	Nホールディングス株式会社による株式会社ドキドキグループワークスの株式取得について
2024/10/15 J-STAR株式会社	株式会社札幌ピケ足場の株式取得について
2024/10/16 J-STAR株式会社	株式会社ウィゴへの株式譲渡について
2024/10/21 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	ストックマーク株式会社の株式取得について
2024/10/24 カーライル・ジャパン・エルエルシー	リガクホールディングス株式会社の東京証券取引所プライム市場への上場に関するお知らせーカーライルの投資案件で9件目となる国内IPOエグジットー
2024/10/25 サンライズキャピタル株式会社	Earth Technology Group株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2024/10/31 株式会社PROSPER	有限会社雲仙九州ホテルの株式取得について
2024/11/1 アイシグマ・キャピタル株式会社	日進乳業株式会社との資本業務提携について
2024/11/5 カーライル・ジャパン・エルエルシー	Carlyle acquires Kyoden
2024/11/5 株式会社海外需要開拓支援機構	英・米・豪の富裕層向けに日本へのタイラーメイド旅行や小規模な団体旅行を企画・販売するInside Travel Groupへ投資
2024/11/8 株式会社海外需要開拓支援機構	株式会社MCIPIホールディングスの株式譲渡について
2024/11/8 株式会社福岡キャピタルパートナーズ	株式会社アスプロへの資本参加について
2024/11/8 J-STAR株式会社	株式会社Shitホールディングスによる妹尾産業グループへの出資について
2024/11/8 J-STAR株式会社	株式会社ダイニチの株式譲渡について
2024/11/8 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社ビジコンネクストとの資本業務提携のお知らせ
2024/11/13 アスバラントグループ株式会社	アウトルックコンサルティング株式会社に対する公開買付けに係る応募契約締結に関するお知らせ
2024/11/18 三井住友ファイナンス&リース株式会社	国内インフラを対象にしたインカム・ファンド2号の組成及び初号投資案件の投資実行について(PDF: 904.2KB)
2024/11/26 株式会社PROSPER	株式会社NEWGREENへの出資について
2024/11/27 農林中金キャピタル株式会社	農林中金キャピタル戦略協創1号投資事業有限責任組合を通じて、在宅医療・介護DX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組む株式会社ゼストへ出資について
2024/12/4 農林中金キャピタル株式会社	農林中金キャピタル戦略協創1号投資事業有限責任組合を通じて、ナレッジプラットフォーム「Qast」を提供するany株式会社へ出資しましたのでお知らせいたします
2024/12/6 アスバラントグループ株式会社	興人ファルム&ケミカルズ株式会社の株式譲渡のお知らせ
2024/12/9 株式会社海外需要開拓支援機構/クールジャパン機構	45R-J株式会社の吸収合併に伴う株式の処分について
2024/12/16 キャス・キャピタル株式会社	2024年12月13日付で株式会社こうゆうの株式を取得いたしました
2024/12/18 株式会社アドバンテッジパートナーズ	東邦亜鉛株式会社の事業再生におけるスポンサー支援について
2024/12/19 エンデバー・ユナイテッド株式会社	スマイルナーシング株式会社の株式取得に関するお知らせ
2024/12/20 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	立石フィルター株式会社との資本業務提携について
2024/12/20 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社飛鳥会館の株式譲渡に関するお知らせ
2024/12/20 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社KV7の株式譲渡について
2024/12/23 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社ティエイシンの株式譲渡について
2024/12/24 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社めいとケアの株式譲渡に関するお知らせ
2024/12/25 野村キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社クラブとの資本提携について
2024/12/26 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社ロゴスホールディングスによる坂井建設株式会社の株式取得に関するお知らせ
2024/12/26 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	リンクステック株式会社の株式譲渡について
2024/12/27 株式会社ブルバス・キャピタル	メイジグループに対する投資実行のお知らせ
2025/1/6 株式会社アドバンテッジパートナーズ	The Cosmetics Groupを設立し、シートマスク市場のリーディングプレイヤーであるクオリティファーストに投資を行いました
2025/1/7 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社プレミアム及び株式会社マインドウェイブとの資本業務提携について
2025/1/9 農林中金キャピタル株式会社	農林中金キャピタル戦略協創1号投資事業有限責任組合を通じて、末期がんや神経難病の方が人生の最終段階を過ごすホスピス在宅という住宅型施設「ビーズの家」を運営する株式会社beadsへ出資しましたのでお知らせいたします
2025/1/14 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社ジャムコ(証券コード:7408)に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ
2025/1/14 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社BoostDraftの株式取得に関するお知らせ
2025/1/15 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	物産フードサイエンス株式会社の株式譲渡について
2025/1/15 雄渾キャピタル・パートナーズ株式会社	ミネ医薬品株式会社との資本提携に関するお知らせ
2025/1/16 エンデバー・ユナイテッド株式会社	奥ジャパン株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2025/1/17 株式会社アドバンテッジパートナーズ	水素ファンドが低炭素合成燃料のリーディングプレイヤーであるINFINIUM HOLDINGS, INC.へ初号投資を行いました

公開日時/正会員名	タイトル
2025/1/17 株式会社マーキュリアホールディングス	株式会社マーク電子の株式譲渡完了に関するお知らせ
2025/1/24 Lキャピタル・ジャパン合同会社	Megabass Enters Strategic Partnership with L Catterton
2025/1/24 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	坂本グループ2社の株式取得に関するお知らせ
2025/1/29 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社ビーラインの持株会社であるシー・シックス・ソー・ホールディングス株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2025/1/31 日本みらいキャピタル株式会社	株式会社浅野屋の株式譲渡に関するお知らせ
2025/2/3 ティーキャピタルパートナーズ株式会社	HKホールディング株式会社の株式譲渡について
2025/2/3 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社ヘルシーホームの株式取得に関するお知らせ
2025/2/4 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社テクノジャパンの株券等に対する公開買付け開始のお知らせ
2025/2/4 J-STAR株式会社	株式会社ファーストの株式取得について
2025/2/7 ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・ジャパン・LLC	ベインキャピタル、田辺三菱製薬の買収に同意
2025/2/10 株式会社海外需要開拓支援機構/クールジャパン機構	Ichiba UK Limitedの株式譲渡について
2025/2/13 カーライル・ジャパン・エルエルシー	株式会社カオナビ(証券コード:4435)の株券等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2025/2/14 J-STAR株式会社	株式会社ジオメディへの資本参加について
2025/2/17 三井物産企業投資株式会社	三井物産企業投資、大阪前田製菓に資本参画～地域の銘菓・伝統菓子メーカーの活性化に向けて～
2025/2/17 JICキャピタル株式会社	新光電気工業株式会社(証券コード:6967)に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2025/2/21 カーライル・ジャパン・エルエルシー	カーライル、株式会社TOTOKUの株式譲渡契約締結に関するお知らせ
2025/2/27 株式会社マーキュリアインベストメント	株式会社enstemへの出資に関するお知らせ
2025/2/27 株式会社アドバンテッジパートナーズ	自動車業界の大変革期において、自動車シートのリーディングカンパニーであるタチエスの「新化」に向けて、AA成長支援ファンドが支援
2025/2/28 農林中金キャピタル株式会社	農林中金キャピタルI号投資事業有限責任組合を通じて、アミューズメント施設「ベクス」を運営する株式会社テスコの発行済株式の全部を譲り受けましたのでお知らせ致します
2025/2/28 ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・ジャパン・LLC	ベインキャピタル、ストリートホールディングスの全株式を所有するBCJ-59の株式譲渡で株式会社ノジマと同意
2025/3/3 株式会社アドバンテッジパートナーズ	スバイラル株式会社、バイザー株式会社をグループに迎え入れ公共向けDX推進を強化
2025/3/3 J-STAR株式会社	MTU株式会社への資本参加について
2025/3/5 株式会社KKRジャパン	KKR、西友株式をトライアルホールディングスへ譲渡
2025/3/6 ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・ジャパン・LLC	Bain Capital Agrees to Acquire Supermarket & Specialty Stores Businesses from Seven & i Holdings
2025/3/14 株式会社刈田・アンド・カンパニー	シンセンフードテック株式会社の株式譲渡について/Transferred shares of Shinsen Foodtec Co.,Ltd.
2025/3/14 株式会社ロングリーチグループ	株式会社ライトワークスに対する公開買付けを開始
2025/3/19 サンライズキャピタル株式会社	LiPLUSホールディングス株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2025/3/26 アスバラントグループ株式会社	ディップソール株式会社の株式譲渡のお知らせ
2025/3/28 株式会社KKRジャパン	トプコンがMBOにより成長戦略加速、KKRとJICキャピタルが参画
2025/3/28 JICキャピタル株式会社	株式会社トプコン(証券コード:7732)における、KKRと共同での資本参加(MBO)に関するお知らせ
2025/3/31 ネクスト・キャピタル・パートナーズ株式会社	吉比化成株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2025/3/31 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社APEXホールディングスの株式譲渡に関するお知らせ
2025/4/1 株式会社PROSPER	株式会社住文からのホテル事業の承継について
2025/4/1 カーライル・ジャパン・エルエルシー	株式会社カオナビ(証券コード:4435)の株券等に対する公開買付けの結果に関するお知らせ
2025/4/2 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社ドーマンへの資本参加について
2025/4/2 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社ミトヨの株式譲渡について
2025/4/2 ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・ジャパン・LLC	ベインキャピタル、株式会社ノジマへのストリートホールディングスの売却を完了
2025/4/4 株式会社アトラスキャピタル	株式会社スカイフィールドコーポレーションの株式譲渡に関するお知らせ
2025/4/4 サンライズキャピタル株式会社	株式会社ライズ・コンサルティング・グループの株式譲渡に関するお知らせ
2025/4/4 株式会社海外需要開拓支援機構/クールジャパン機構	GLOBAL NEXT ATOM PTE. LTD.の株式譲渡について
2025/4/11 ニューホライズンキャピタル株式会社	Shinwa Wise Holdings株式会社の公開買付開始に対する対象者取締役会の意見表明について
2025/4/11 アイ・シグマ・キャピタル株式会社	昭和KDE株式会社との資本業務提携について
2025/4/14 野村キャピタル・パートナーズ株式会社	ポエック株式会社が第三者割当により発行する第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の引受けについて
2025/4/17 株式会社アドバンテッジパートナーズ	ピアメカニクス株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2025/4/18 ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・ジャパン・LLC	株式会社ジャムコ(証券コード:7408)の株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2025/4/22 J-STAR株式会社	株式会社高橋組との資本提携について

公開日時/正会員名	タイトル
2025/4/24 野村キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社マイム・コーポレーションとの資本提携について
2025/4/25 ニューホライズンキャピタル株式会社	ポストコロナリカバリー投資事業有限責任組合の投資先岡野食品株式会社へ投資実行 がレコパフフードビジネス株式会社へ投資実行
2025/4/30 株式会社フルバス・キャピタル	岩野物産株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2025/4/30 MCPキャピタル株式会社	KEホールディングス株式会社の株式譲渡契約締結に関するお知らせ
2025/5/1 横浜キャピタル株式会社	新規投資のお知らせ(株式会社NABLA Mobility)
2025/5/8 株式会社ひろしまイノベーション推進機構	HARADA株式会社との資本提携について
2025/5/8 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社多角形と株式会社オールブルーの資本提携に関するお知らせ
2025/5/9 株式会社日本投資ファンド	株式会社桜井グラフィックスシステムズとの戦略的資本提携について
2025/5/12 ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・ジャパン・LLC	株式会社日新(証券コード:9066)の普通株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2025/5/14 株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ	秘密計算技術を活用したデータセキュリティソリューションを提供するAcompany社に出資
2025/5/15 横浜キャピタル株式会社	Yokohama Bridgeファンド 新規投資のお知らせ(株式会社ハリマシステム)
2025/5/16 株式会社ロングリーチグループ	株式会社ライトワークスに対する公開買付け成立
2025/5/23 ニューホライズンキャピタル株式会社	株式会社エスエーティの株式譲渡
2025/5/27 ニューホライズンキャピタル株式会社	Shinwa Wise Holdings株式会社の普通株式に対する公開買付けの結果に関するお知らせ
2025/5/27 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	GLOBIA株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2025/5/29 株式会社マーキュリアインベストメント	株式会社Hacobuへの出資に関するお知らせ
2025/5/30 福岡キャピタルパートナーズ	株式会社中央総合企画への資本参加について
2025/6/2 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社トスカパノックの株式譲渡に関するお知らせ
2025/6/9 株式会社マーキュリアインベストメント	ビッググループへの出資に関するお知らせ
2025/6/10 カーライル・ジャパン・エルエルシー	株式会社トライト(証券コード:9164)の普通株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2025/6/10 J-STAR株式会社	Orange Connex Groupへの資本参加について
2025/6/16 株式会社丸の内キャピタル	中野冷機株式会社(証券コード:6411)に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2025/6/16 株式会社アドバンテッジパートナーズ	システム建築のリーディングプレイヤーである、スペースバリューホールディングスの株式を譲り受けることに同意しました
2025/6/16 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	スペースバリューホールディングス株式会社の株式譲渡について
2025/6/20 ニューホライズンキャピタル株式会社	株式会社タカフジによる攝津工業株式会社への投資実行
2025/6/23 株式会社ロングリーチグループ	ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社の新規上場に関するお知らせ
2025/6/24 ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・ジャパン・LLC	ベインキャピタル、ADKホールディングスに対しCKRAFTON Incが資本参画することで同意
2025/6/25 横浜キャピタル株式会社	新規投資のお知らせ(株式会社リボルナバイオサイエンス)
2025/6/25 株式会社フルバス・キャピタル	株式会社カカロコの株式譲渡のお知らせ
2025/6/26 株式会社アドバンテッジパートナーズ	超高温領域における断熱ソリューションのグローバルリーダーである、マフテックグループの株式を譲り受けることに同意しました
2025/6/26 Apollo Management Japan Limited	Apollo Funds Agree to Sell MAFFTEC to Advantage Partners
2025/6/26 EQTパートナーズジャパン株式会社	EQT to sell Pioneer Corporation, a leading Japanese provider of in-car sound and multimedia products and solutions, to CarLUX for USD 1.1 billion
2025/6/27 株式会社刈田・アンド・カンパニー	株式会社ジャパンブルーの株式譲渡契約の締結について
2025/6/27 横浜キャピタル株式会社	新規投資のお知らせ(Eurus Therapeutics株式会社)
2025/6/27 株式会社日本投資ファンド	株式会社テクノスターとの戦略的資本提携について
2025/6/30 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社イノゴロヒの株式譲渡契約締結のお知らせ
2025/6/30 株式会社海外需要開拓支援機構/クールジャパン機構	Dream Vision Co., Ltd.の株式譲渡について
2025/6/30 J-STAR株式会社	日本コンセプト株式会社に対する公開買付けについて
2025/6/30 株式会社アトラスキャピタル	ビルマテル株式会社の株式譲渡に関するお知らせ

※本情報は正会員各社の発表を元にしてます。公表案件についてのお問い合わせは、正会員各社に直接お願いいたします。

# 勉強会の現場 ～ナレッジシェアリング委員会より～

## メンバー紹介

- 委員長：福崎昇平 株式会社丸の内キャピタル 取締役CIO  
委員：岡俊子 株式会社岡&カンパニー 代表取締役  
委員：津田敬太郎 ロングリーチグループ パートナー  
委員：松本展明 キャス・キャピタル株式会社 取締役パートナー  
委員：長谷川俊郎 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 パートナー・チーフフィナンシャルオフィサー

## 委員長挨拶

ナレッジシェアリング委員会では、原則として毎月、Zoomを活用した勉強会を開催しております。また、月によっては開催回数を増やすなど、参加者の皆さまにとってより有益な機会を多くご提供できるよう、委員会メンバー一同、日々工夫を凝らしております。

当初は実務に直結するテーマを中心に取り上げてまいりましたが、近年では、上場企業の経営者や大学教授といった外部の有識者を講師としてお招きするなど、勉強会の幅を広げております。参加者の皆さまからは「視座を広げる貴重な機会となった」との声も多数寄せられており、主催者としても大変嬉しく感じております。

Zoom形式のオンライン勉強会に加え、今年は対面形式での実務研修も実施いたしました。8月8日および15日の2日間にわたり、正会員のジュニアメンバー



約20名を対象とした法務実務研修を開催しました。本研修は一昨年、昨年続き3回目の開催となるもので、今回は長島・大野・常松法律事務所より経験豊富な弁護士の先生方を講師にお迎えしました。株式譲渡契約に関する講義に加え、参加者が買い手と売り手に分かれて行う模擬交渉も実施し、実践的な学びの場となりました。研修後の懇親会では、ジュニアメンバー同士の交流も深まり、大変有意義な機会となりました。

すべての勉強会についてご紹介したいところですが、紙面の都合もあり、本稿では2025年6月および7月に開催された勉強会を抜粋してご紹介いたします。

福崎 昇平

株式会社丸の内キャピタル 取締役CIO

## ■日本経済とこれからの経営～ PE投資への示唆

6月16日には、オリックス株式会社 シニア・チェアマンの宮内義彦様をお迎えし、ナレッジシェアリング委員会メンバーであるロングリーチグループの津田さんとの対談形式で、「日本経済とこれからの経営～PE投資への示唆～」をテーマに勉強会を開催しました。対談は事前打ち合わせに頼らない、ほぼアドリブ形式でしたが、津田さんの巧みな進行により、宮内様から大変示唆に富むお話を伺うことができました。



オリックス株式会社 シニア・チェアマン 宮内義彦様（左）

## ■米トランプ政権の政策動向と主要産業への影響

7月11日には、会員の皆さまの関心も高い「米トランプ政権の政策動向と主要産業への影響」をテーマに、PwC Japan合同会社 代表執行役副会長の吉田あかね様、および地政学リスクアドバイザーリードのピヴェット久美子様を講師にお迎えしました。



PwC Japan合同会社  
代表執行役副会長  
PwCアドバイザー  
合同会社  
代表執行役会長  
吉田あかね様

直接的な関税の影響のみならず、今後想定される間接的影響についても示唆をいただき、新規投資の戦略立案や投資先企業の企業価値維持・向上、さらにはEXIT戦略を検討するうえで、大変有意義な内容となりました。

PwC Japan合同会社  
地政学リスクアドバイザー  
リードピヴェット 久美子様



## ■日本の環境政策

さらに7月24日には、当協会の勉強会としては初めて、現職の大臣を講師としてお迎えする機会が実現しました。環境大臣の浅尾慶一郎先生より、「ESG投資をめぐる世界の潮流と日本の環境政策の方向性」と題した特別講演をいただきました。プライベート・エクイティ業界においてもESGの重要性がますます高まる中、非常に貴重な機会となりました。なお、本勉強会の開催にあたっては、ポラリス・キャピタル・グループ様にお力添えをいただきました。



いずれの勉強会も多くの会員の皆さまにご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。このような講師陣をお迎えできるようになったことは、プライベート・エクイティという投資手法が日本において着実に根付きつつあること、そして当協会の社会的なプレゼンスが高まっていることの表れであると感じております。



環境大臣 浅尾慶一郎様

今後も、会員の皆さまにとって価値ある知見を得られる勉強会を企画・開催してまいりますので、引き続き積極的なご参加をお待ちしております。

## 会員勉強会 年別アーカイブ

当協会ホームページでは過去の会員勉強会をアーカイブでまとめています。会員ログインすることで、資料や動画を閲覧することができる勉強会もあります。

(<https://jpea.group/category/event-study/>)

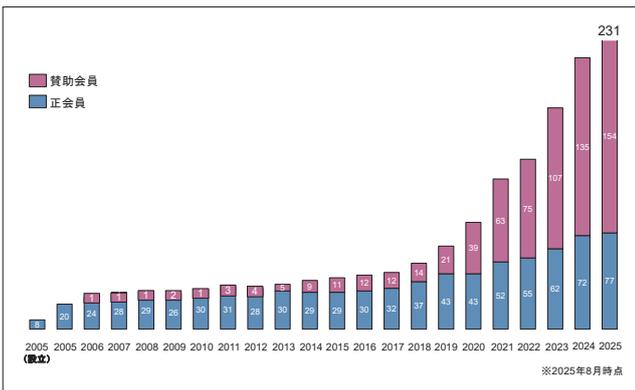
## ●各勉強会の内容紹介

内容	日本の環境政策
開催日	2025年7月24日
講師	参議院議員 環境大臣 浅尾 慶一郎様

## ■勉強会（2024年7月～2025年7月開催）

開催日	内容	講師（敬称略）
2025年7月24日	日本の環境政策	参議院議員 環境大臣 浅尾 慶一郎
2025年7月11日	米トランプ政権の政策動向と主要産業への影響	PwC Japan合同会社 代表執行役員副会長 PwCアドバイザー合同会社 代表執行役員会長 吉田あかね PwC Japan合同会社 地政学リスクアドバイザーリード ビヴェット 久美子
2025年6月16日	日本経済とこれからの経営～PE投資への示唆	オリックス株式会社 シニア・チェアマン 宮内 義彦
2025年5月21日	経営者に求められる資質について “投資先の経営を任せられる人材とは”	株式会社小宮コンサルタンツ 代表取締役 小宮 一慶
2025年5月12日	アステラス製薬のイノベーションを支えるグローバル組織と人事戦略	アステラス製薬株式会社 代表取締役会長 安川 健司
2025年4月16日	重要性が高まる人事領域のバリューアップ策の傾向と対策	株式会社セレブレイン 代表取締役社長 高城 幸司
2025年3月18日	「人的資本経営」は、企業の本格的な変革につながるか	株式会社イノベーション・インテリジェンス研究所 代表取締役社長 京都大学経営管理大学院 特別教授 幸田 博人
2025年2月18日	2025年度 税制改正大綱と2024年の注目事案の紹介	株式会社AGS FAS 代表取締役 株式会社AGSコンサルティング 取締役 税理士 長生 秀幸
2025年1月21日	事業会社のM&Aマネージャーとしての取り組み	株式会社日立製作所 コネクティブインダストリーズ事業統括本部 事業戦略統括本部 シニアビジネスデベロップメントストラテジスト ハジヤティ 史織
2024年12月3日	第9回JPEAアワード（2022年度）受賞案件勉強会 ポラリス・キャピタル・グループによるソーシャルインクルーの企業価値向上支援	ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 投資グループ パートナー 西畑 豪人
2024年11月25日	第9回JPEAアワード（2022年度）受賞案件勉強会 Lキャタルトンによる企業価値向上策	Lキャタルトン・ジャパン合同会社 パートナー 清水 俊孝 プリンシパル 櫻木 健司
2024年10月29日	ウェルスマネジメントが注目される背景～今、注力すべきお客さまは「オーナーファミリー」～	東洋不動産株式会社 代表取締役社長 宮田 敦 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ ウェルスマネジメント戦略部長 高井 順平 株式会社三菱UFJ銀行 ウェルスマネジメントコンサルティング部 ファミリーオフィス室室長 岡田 将稔
2024年9月24日	サステナビリティ・リンクド・ローンの事例研究と実務	横浜銀行 ソリューション営業部 サステナビリティ推進室 井口 友吾 ベーシック・キャピタル・マネジメント シニアヴァイスプレジデント 飛松 治樹 三菱UFJ銀行 ソリューション本部ソリューションプロダクツ部 M&Aファイナンス第2グループ 上席調査役 美濃部 裕 ユニオン・キャピタル マネージング・ディレクター 後藤 玲央 モデレーター：PE協会ESG委員 片柳 淳子
2024年9月18日	日本企業におけるDXの取組みの現状	ガーディアン・アドバイザーズ株式会社 DXアドバイザーグループ アーキテクト/ 立教大学大学院 客員准教授 高柳 寛樹
2024年8月29日	CFOと企業価値向上	株式会社ニコン 代表取締役 兼 社長執行役員 COO、CFO、CRO、サステナビリティ戦略部担当 徳成 旨亮
2024年7月24日	近年増加トレンドのカーブアウトM&A PMIポイントの勘所	株式会社エスネットワークス プリンシパル 熊谷 伸吾 アシスタントマネージャー 辻田 勇貴

## ■会員数推移



一般社団法人 日本プライベート・エクイティ協会（以下「当協会」）は、2005年8月1日に当初会員8社で設立された団体です。当協会は、日本のプライベート・エクイティ投資の主要プレーヤーが揃う業界団体としての機能を担い、また、プライベート・エクイティ業界当事者が適切な情報発信を行うことを目的として設立されました。

当協会は、積極的な経営支援と経営資源の提供を伴う投資を通して活力ある企業経営を実現し、従業員をはじめとする全てのステークホルダーの利益を総合的に実現することを目指す、プライベート・エクイティ投資組合等の業務執行組合員及びそのアドバイザー等を中心とした組織です。当協会は、2025年8月時点で正会員77社、賛助会員154社で構成されております。

## 編集後記

日本で1997年にプライベート・エクイティ事業が産声を上げて早30年近くが経過しました。その間、リーマン・ショック、コロナ禍、地政学的情勢の変動など、様々な局面を経ながらも成長を続け、今ではPEファンドの活動を目にしない日のほうが珍しいかもしれません。日々の活動においても、PEを当然の論点として議論できるようになっています。これも、社会からの求めに応え続けてきた関係者の皆様のご尽力のお陰と深く感謝しております。当協会の会員数も勢いよく伸長し、今では230社を超えました。なお成長が期待される本業界において、プライベート・エクイティに対する更なる認知度向上、および業界の持続的発展のために、本ニュースレターが僅かでも一助となるよう願っております。

**発行日** 2025年8月31日  
**発行** 一般社団法人 日本プライベート・エクイティ協会  
**発行責任** 飯沼 良介  
**編集責任** 松山 幸功、樫山 雄樹、中山 祥子、清水 俊孝、伊藤 政宏  
**編集協力** 株式会社ブレインズ・ネットワーク

Copyright © 2025 Japan Private Equity Association.  
All Rights Reserved